

第4問 次の文章を読んで、後の問い(問1〜6)に答えよ。(設問の都合で返り点と送り仮名を省いたところがある。)

(配点 50)

衛靈公与夫人夜坐、聞車声、麟、麟。至闕而止、過闕復有聲。公問之。

夫人曰、「知此為誰。」夫人曰、「此必蘧伯玉也。」公曰、「何以知之。」

夫人曰、「妾聞礼下公門、式路馬、所以広敬也。夫忠臣与孝子、

不為昭昭、信節、不為冥冥、墮行。蘧伯玉、衛之賢大夫也。仁而

有智、敬於事上。此其人必不以闇昧廢礼。是以知之。」公使視之、

果伯玉也。公反之、以戲。夫人曰、「非也。」夫人酌觴、再拜賀公。

公曰、「子何以賀寡人。」夫人曰、「始妾独以衛為有蘧伯玉爾。」

今衛復有与之齊者。是君有賢臣也。国多賢臣、国之福也。妾

是以賀。」公驚曰、「善哉。」遂語夫人其実焉。

(劉向『列女伝』による)

(注)

- 1 衛靈公——春秋時代の衛国の君主。
- 2 闕——宮殿の門。
- 3 妾——女性の自称。
- 4 下_二公門_一、式_三路馬_二——君主の住む宮殿の門前では車を下り、君主の馬に対しては敬礼する。『礼記』に「大夫」の行うべき礼として見える。
- 5 冥冥——暗くて見えないこと。
- 6 大夫——中国古代の官吏の身分の一つ。